

第2学年 音楽科学習指導案

期 間 平成18年2月22日～23日

対 象 一関市立田河津小学校

第2学年男子6名女子4名

授業者 菊 地 桂 子

1 題材名 けしきをおもいうかべてうたおう (2時間)

2 指導内容 学習指導要領第1学年及び第2学年の目標(2)及び内容(2) - ア, ウ 表現(3) - ア

3 題材の目標

(1) 歌詞や曲の雰囲気が表示する情景を想像し、歌声やことばの発音に気をつけて、意欲的に表現しようとする。 (関心・意欲・態度)

(2) 歌詞や曲の雰囲気が表示する情景を表現するために、歌声やことばの発音を感じ取り、イメージをもって表現の工夫をする。 (感受・表現の工夫)

(3) 歌詞や曲の雰囲気が表示する情景に合った歌声やことばの発音で歌う。 (表現の技能)

4 教材 春がきた やまびこさん

5 題材について

学習指導要領の第1学年及び第2学年の指導内容(2) - アは「歌詞の表す情景や気持ちを想像して表現すること」ウは、「互いの歌声や楽器の音、伴奏の響きを聴いて演奏すること」(3) - ア「自分の歌声及び発音に気を付けて歌うこと」とある。

そこで、本単元は、歌詞の表す情景への関心を高めながら、情景を想像させ、その想像した情景を表現するための歌声やことばの発音の工夫に気付かせ、基礎的な表現の能力を育てるために設定した。

本題材では、主に次の内容を指導する。

歌詞や曲の雰囲気が表示する情景を想像しながら歌うこと

歌詞や曲の雰囲気が表示する情景を表現するために、範唱CDやオルガンの音、教師や友だちの歌声をよく聴き、歌声やことばの発音を感じ取り、イメージをもって表現の工夫をすること

指導に当たっては、評価の観点2音楽的な感受や表現の工夫「楽曲の気分や音楽を特徴付けている要素を感じ取り、それらを生かした表現や鑑賞の工夫をしている」を重視した授業場面を計画した。まず、範唱CDと教師の歌声(寒々とした暗いイメージ)の違いから、「春がきた」という題名や歌詞に合った歌声にしたいという児童の気持ちを高める。そして、教材「春がきた」の気分や音楽を特徴付けている要素を感じ取らせるために、範唱CDや歌詞から情景を想像し、絵を描いたり音を出したり身体表現をさせたりする。これらの活動は、指導者が指示するのではなく、児童自身で活動が展開されるように支援していく。次に、想像した情景を表現するためにはどうすればよいのか、表現の工夫に気付かせる。低学年では、他の人の声や演奏を注意深く聴かないで、むやみに大きな声で歌ったり、自分勝手な速度で歌ったりする傾向が見られる。そのため、リズムや音程などがあいまいになっている場合もある。そこで、範唱CDと録音した自分たちの歌声の違いなどから、ことばの発音や歌声について知覚・感受させたい。歌声の表現の工夫としては、姿勢を正しくすること、オルガンの音と自分の出している音が同じ音かどうかよく聴きながら歌うことや腹式呼吸で歌うことなどに気付かせたい。更にことばの発音の工夫としては、言葉の抑揚に気を付けることや母音や子音、鼻濁音の発音に気付かせたい。

6 題材の評価規準 【A 表現・歌唱】

	音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能
題材の評価規準	歌詞や曲の雰囲気が表示情景を想像し、歌声やことばの発音に気をつけて、意欲的に表現しようとしている	歌詞や曲の雰囲気が表示情景を伝えるために、歌声やことばの発音を感じ取り、イメージをもって表現の工夫をしている	歌詞や曲が雰囲気が表示情景に合った歌声やことばの発音で歌っている
学習活動における具体的評価規準	歌詞や曲の雰囲気が表示情景に関心を持ち、意欲的に想像しようとしている 歌詞や曲の雰囲気が表示情景を表現するために、歌声やことばの発音に気を付けようとしている	歌詞や曲の雰囲気が表示情景を感受している 歌声やことばの発音の表現の工夫を知覚・感受し、イメージに合った表現の工夫をしている	歌詞や曲の雰囲気が表示情景をイメージして歌っている 歌声やことばの発音に気を付けて歌っている

7 指導と評価の計画

時間	段階	指導内容	評価方法	具体的評価規準との関連
1	導入	歌詞の表す情景への関心を持ち、情景を想像させる	学習カード及び発言や行動などの観察	観点1 - 観点2 - 観点3 -
	展開			
2	終末	想像した情景を歌で表現するための工夫をさせる		観点1 - 観点2 - 観点3 -

8 学習活動における具体的評価規準

時	具体的評価規準	観点	A	B	Cの児童への支援
1	歌詞や曲の雰囲気が表示情景に関心を持ち、想像しようとしている	1 -	歌詞や曲の雰囲気が表示情景を想像し、絵や音身体表現で意欲的に表現しようとしている	歌詞や曲の雰囲気が表示情景を想像し、絵や音身体表現のいずれかで表現しようとしている	歌詞や曲の雰囲気が表示情景として想像しようとしたことを聞き取り、想像しようとした行為そのものをほめる
	歌詞や曲の雰囲気が表示情景を知覚・感受している	2 -	歌詞や曲の雰囲気が表示情景を絵・音・身体表現のいずれかで豊かに表現している (例) ・絵に花や鳥の他に春を感じさせるものも表現している ・歌詞の表す情景を豊かに音で表現している ・歌詞の表す情景を思い浮かべ、フレーズや強弱を的確に身体表現している	歌詞や曲の雰囲気が表示情景を絵・音・身体表現のいずれかで表現している (例) ・絵に花や鳥など歌詞に書かれているものを表現している ・歌詞の表す情景を音で表現している ・歌詞の表す情景を思い浮かべてリズムよく身体表現している	歌詞を再度読ませ、何が出てくるのかをおさえさせる 絵を描くことに戸惑う子には、背景のある学習シートを選択させる 絵が描けない子には、絵や写真を参考にさせる 音で表現できる子を参考にして考えさせる リズムよく身体表現している子のまねをすることを促したり、一緒に身体表現するように誘う
	歌詞や曲の雰囲気が表示情景に合った歌声で歌っている	3 -	歌詞の表す情景に合った歌声にするために心をこめて歌っている様子が表情や身体表現に表れている	むやみに大きな声で歌わず、歌詞の表す情景に合った歌声で歌っている	描いた絵など学習したことを振り返らせ、どのように歌えば良いのか考えさせる
2	歌声やことばの発音を知覚・感受し、表現の工夫をしている	2 -	歌声や言葉の発音について知覚・感受し、表現の工夫をしている	歌声やことばの発音について知覚・感受している	範唱CDやオルガンの音、教師や友だちの歌声をよく聴くように促す
	歌詞や曲の雰囲気が表示情景を表現するために、歌声やことばの発音に気を付けようとしている	1 -	範唱CDやオルガンの音、教師や友だちの歌声をよく聴き、歌声やことばの発音に気を付けようとしている	歌声やことばの発音に気を付けようとしている	歌声やことばの発音の表現の工夫の中でできている事柄をほめるとともに、気を付けるべき事柄に気付かせる
	歌詞や曲の雰囲気が表示情景に合った歌声やことばの発音に気を付けて歌っている	3 -	歌詞の表す情景に合った歌声やことばの発音に気を付けて心をこめて歌っている	歌詞の表す情景に合った歌声やことばの発音に気を付けて歌っている	みんなで学習してきたことを黒板をみながら振り返らせる

9 指導と評価の展開

時間	ねらい ・学習活動	具体の評価 規準との関 連	指導上の留意点 評価方法等
1	<p>歌詞の表す情景への関心をもち、情景を想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「春がきた」の歌詞を声に出して読む。 ・「春がきた」範唱CDを聴く。 ・「春がきた」(寒々と暗い歌声)を聴き、学習課題(めあて)を考える。 ・みんなで話し合い、単元のめあてを設定する。 <div data-bbox="287 750 1407 896" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>単元のめあて</p> <p>春がきたように歌おう！！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の歌を想起し、歌詞に注目する。 ・「春がきた」の歌のようすを自分で絵(学習カード)に描いてみる。 ・友達と話し合いながら、更に絵を描く。 ・情景を想像して音で表させ、何の音かあてるゲームをする。 ・情景を想像して身体表現させる。 	<p>観点1 -</p> <p>観点2 -</p>	<p>はっきりとした発音で歌詞を読ませたい</p> <p>範唱CDと教師の歌声の違いを知覚・感受させ、疑問や願いをもたせる。そして、課題(めあて)を設定させる。</p> <p>教師が文字からでは、春がイメージできず困っていることを伝え、絵でイメージを表現する活動につなげる</p> <p>学習カード・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の表す情景に関心をもち、想像しようとしている。 学習カード・観察 ・歌詞の表す情景を知覚・感受している。 <p>絵を描くことに戸惑う子のために場の設定がある学習カードを準備し、学習カードを選択させる。</p> <p>絵が苦手の子のために資料を準備しておく。</p> <p>「山」「さと」「の」の意味をとらえていないときは全体で確かめる。</p> <p>範唱CDを何度かながす。</p> <p>絵だけではなく、音や身体表現しようとする子を認め、児童自身で活動が展開されるように支援する。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・「春がきた」を歌う。 ・今日の学習を振り返り、想像した情景について学習カードに記入し、発表し合う。 ・学習のまとめと次時の予告 	<p>観点3 -</p> <p>観点2 -</p>	<p>手でリズムを打ったり、リズムに合わせて歩いたりして、音楽に感覚的に反応させる。</p> <p>フレーズや強弱に気付かせ、板書し、身体表現させる。</p> <p>観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の表す情景に合った歌声で歌っている。 心をこめて歌っている様子が、表情や身体表現にも表れている子を賞賛する。 児童の歌声を録音しておく。 <p>学習カード・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の表す情景を想像し、学習カードに記入したり発言したりしている。
2	<p>歌詞の表す情景への関心をもち、それらを表現するための工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習の想起 ・「春がきた」範唱CDと「春がきた」の自分たちの歌声を聴く。 ・どのように歌ったらよいか自分の考えを学習カードに記入する。 ・みんなで話し合う。 ・音あてクイズをする。 ・「やまびこさん」を歌うことを通して、歌声やことばの発音について知覚・感受し、表現の工夫に気付かせる。 	<p>観点2 -</p>	<p>歌詞のようすを思い浮かべながら歌うことの大切さを思い出させる</p> <p>観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱CDの歌声と自分たちの歌声の違いを知覚・感受している。 <p>学習カード・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌声やことばの発音の工夫を考え、学習カードに記入したり、発言したりしている。 歌を歌うときの正しい姿勢に気付かせる。 音をよく聴く姿勢をつくらせる。 縦書きの詩を用意する。 正しい発音（音程）で歌うためにオルガンの音をよく聴いて、小さな声から歌わせる。 （アリさんになって チョウチョさんになって とりさんになっ

<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌声やことばの発音の表現の工夫に気を付けて「春がきた」を歌う。 ・ 二つのグループに分かれ、互いに「春がきた」を歌い、良かったことや気をつけるとよいことを学習カードに記入し、発表し合う。 ・ 学習まとめとして、「春がきた」を歌う。 	<p>観点 1 -</p> <p>観点 2 -</p> <p>観点 3 -</p>	<p>て)</p> <p>正しい発声（地声を出さない・腹式呼吸）に気付かせる。</p> <p>歌のはじめの「は」や鼻濁音「が」の発音、言葉の抑揚に気付かせる。</p> <p>観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌声やことばの発音の表現の工夫に気を付けようとしている。 <p>学習カード・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちの良かったことや気をつけるとよいことを学習カードに記入したり、発言したりしている。 <p>観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正しい発音、きれいな発音に気を付けて歌っている。 <p>児童の歌声を録音し、聴く。</p>
---	---	---